

7 新たな観光県やまぐち創造プロジェクト

概要

本県ならではのツーリズムの創出や、データに基づく観光地経営の実践に向けた支援、デジタル技術を活用した戦略的なプロモーションの展開等を通じて、持続可能で国内外から選ばれる新たな観光県やまぐちを創造する

重点施策

- 25 観光客の心をつかむ新たな戦略的プロモーションの展開
- 26 やまぐちの多彩な魅力を活かした交流人口の拡大
- 27 反転攻勢に向けた戦略的な誘客対策によるインバウンドの拡大
- 28 新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★ (目標を達成)		
	★★★★ (計画を上回る)	2	観光消費額 (年間) 等
	★★★ (ほぼ計画どおり)	4	観光客数 (年間) 等
	★★ (計画を下回る)		
	★ (計画から大幅に遅れ)	1	延べ宿泊者数 (年間)

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
県民実感度調査 (%)	国内外から観光客や来県者を増加させる取組が進んでいると思いますか。	26.9	42.4	28.7

(3) 主な取組と成果

主な取組と成果

◆観光客の心をつかむ新たな戦略的プロモーション（誘客促進活動）の展開

- 本県誘客の好機である山口DCの開催を最大限に活かし、観光地としての認知度向上を図るため、DC 1年前のプレキャンペーンの実施などを通じ、戦略的なプロモーションを展開することで誘客拡大を促進。

・観光客数 3,241 万人 (R6 年) → **3,342 万人 (R7 年)**

◆やまぐちの多彩な魅力を活かした交流人口の拡大

- アウトドアスポーツを核としたツーリズムによる交流人口の拡大に向け、自然の循環に思いを巡らせながら体を動かすことを楽しむアクティビティ「**SEA TO SUMMIT**」の**新規開催**や、本県のサイクルルートやキャンプ場の魅力発信など、「**スポーツフィールドやまぐち**」の**取組**を推進。

- レノファ山口FCやACT SAIKYO、ながとブルーエンジェルスと連携を図り、**エキシビジョンマッチの開催、交流イベント**等を実施。

・レノファ山口ホームゲーム平均入場者数 4.5 千人 (H29～R3 年度平均) → **5.0 千人 (R4～R7 年度平均)**

- 美術館での企画展の開催や、県内文化の魅力を発信する「やまぐち文化プログラム」の展開等により、**多彩な文化資源を活用**した交流人口の拡大を促進。

・県立美術館の入館者数 17 万人 (H29～R3 年度平均) → **17 万人 (R4～R7 年度平均)**

◆戦略的な誘客対策によるインバウンド（外国人観光客誘致）の拡大

- 海外からの注目度の高まりや大阪・関西万博の開催を契機としてインバウンド需要を確実に取り込んでいくため、韓国や台湾等の重点 5 市場に加え、欧米豪市場もターゲットとして、海外メディアや OTA、デジタル媒体等を活用したプロモーションを展開したほか、観光プロモーターと連携した現地の旅行会社への働きかけや情報発信を行うなど、インバウンド拡大に向けた取組を推進。

・外国人延べ宿泊者数 12.6 万人（R6 年）→ 16.2 万人（R7 年）

◆新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり

- 本県の豊かな自然のポテンシャルを活かした**新たなツーリズムの創出**に向け、やまぐちDMOとの連携により全県を挙げた推進体制の構築を図るとともに、本県ならではのアウトドアツーリズムを象徴する特別なコンテンツの開発への支援を実施。

(4) 総評

総
評

本県の観光客数は前年比で増加したところであるが、山口デスティネーションキャンペーン(DC)開催の好機を最大限に活かした戦略的なプロモーションや、魅力的な観光地域づくり等とともに、インバウンドの拡大等にも取り組み、国内外からの誘客を一層促進していくことが求められている。

(5) 課題と今後の展開方向

課
題
と
今
後
の
展
開
方
向

◆観光客の心をつかむ新たな戦略的プロモーション（誘客促進活動）の展開

- 全国からの誘客を拡大していくため、本年秋に開催する山口DCの成功に向けて、県内全域で創出した200を超える観光コンテンツを誘客の起爆剤とし、首都圏や関西圏等での集中的な情報発信や全県規模の周遊キャンペーン等を展開する必要がある。

◆やまぐちの多彩な魅力を活かした交流人口の拡大

- スポーツの力や多彩な文化資源を活用し、交流人口の拡大を図るとともに、国内外からの誘客促進を図る必要がある。

◆戦略的な誘客対策によるインバウンド（外国人観光客誘致）の拡大

- インバウンド需要が大都市圏に集中する状況の中、外国人観光客の本県への誘客を拡大していくため、個人旅行化の進展や地方への訪問意向の高まりなど観光を取り巻く環境変化を踏まえた戦略的なプロモーションや受入環境の整備を推進していく必要がある。

◆新たなニーズを捉えた持続可能な観光地域づくり

- 新たなツーリズムを活かし、観光産業の高付加価値化を図るとともに、若者が地域と連携して実施する観光振興の取組を支援するなど、持続可能な観光地域づくりに向けた取組を一層推進する必要がある。

(参考) 令和8年度の主な新規・拡充取組

拡 「万福の旅」山口DCプロモーション事業

DCの効果を最大限高めるため、全国からの誘客と県内周遊を促進することで、本県の観光産業の活性化や観光県としてのブランディングにつながるプロモーションを展開

新 世界大会を契機とした観光物産魅力発信事業

ピックルボール世界大会の本県開催を契機として、本県の観光や物産の魅力を発信するとともに、誰もが楽しめるニュースポーツの普及を促進

拡 「持続可能な文化財」による文化観光推進事業

本県の多彩な文化財を、これまでの保存活用にとどまらず、新たな観光資源等として磨き上げ、最大限に活かすことで誘客の拡大を図り、「持続可能な文化財」による文化観光を推進

拡 クルーズ等周遊観光促進事業

注目度と話題性に優れた特別な体験コンテンツ等を活かしながら、国内外クルーズ振興、瀬戸内海観光の振興により周遊を促進

拡 ビジットやまぐち推進事業

重点5市場（韓国、台湾、香港、中国、ASEAN）及び欧米豪市場から本県への外国人観光客の確実な取り込みを図るため、交通事業者等と連携し福岡エリアからの誘客を促進するなど、海外からの認知度向上に向けた戦略的なプロモーションや誘客促進の取組等を強化

新 観光地にぎわい空間創出支援事業

山口ならではの歴史や文化、自然等に根差した統一された世界観やデザイン、ブランディングに基づく観光空間づくりを支援